

かたせ

自治連だより

2022年10月20日 第14号
 発行 片瀬地区自治町内会
 連絡協議会
 発行人 島山 義昭
 事務局 片瀬市民センター内
 電話 0466 - 27 - 2711

片瀬地区自治会・町内会一覧

新屋敷ブロック

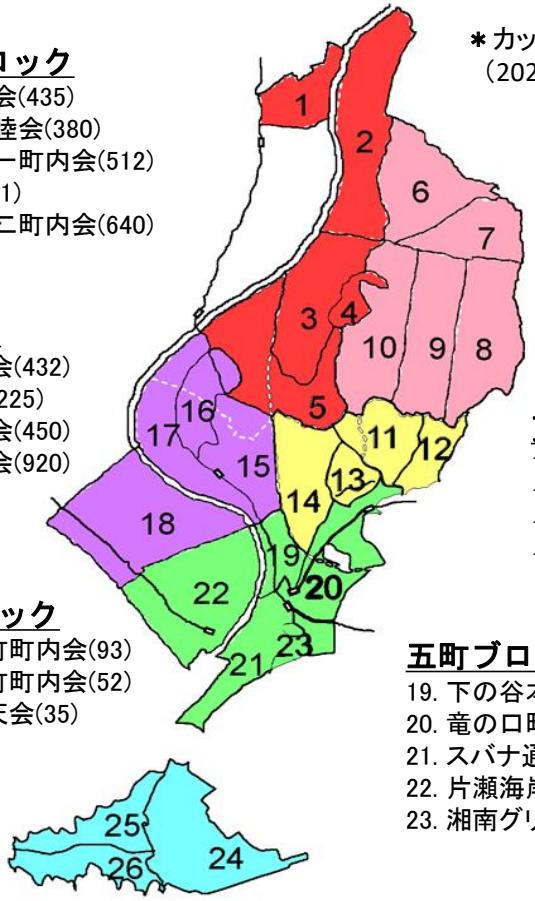
- 1. 片瀬弥生会(435)
- 2. 新屋敷親睦会(380)
- 3. 新屋敷第一町内会(512)
- 4. 三部会(101)
- 5. 新屋敷第二町内会(640)

西ブロック

- 15. 西方町内会(432)
- 16. 西の原会(225)
- 17. 御行町内会(450)
- 18. 西浜町内会(920)

江の島ブロック

- 24. 江の島東町町内会(93)
- 25. 江の島西町町内会(52)
- 26. 江の島弁天会(35)



*カッコ内は加入世帯数
(2022年4月1日時点)

片瀬山ブロック

- 6. 片瀬山1丁目自治会(272)
- 7. 片瀬山2丁目自治会(252)
- 8. 片瀬山3丁目自治会(467)
- 9. 片瀬山4丁目自治会(289)
- 10. 片瀬山5丁目自治会(293)

東ブロック

- 11. 東り町東会(236)
- 12. 片瀬目白山町内会(89)
- 13. 片瀬中央平和会(71)
- 14. 片瀬三和会(240)

五町ブロック

- 19. 下の谷本町町内会(184)
- 20. 竜の口町内会(314)
- 21. スパナ通り町内会(643)
- 22. 片瀬海岸2丁目町内会(596)
- 23. 湘南グリーンハイツ自治会(105)

会長あいさつ

片瀬地区自治町内会連絡協議会
会長 島山 義昭

私たち自治町内会活動は、コロナ終息が見えぬ中で、この上半期はほとんどの事業が中止、縮小となるスタートでした。

8月の定例会では各町内会の活動内容、問題点、困りごとなどについて意見交換をした結果、十年ほど前からある空き家問題が再び挙がり、この問題解決への対策の難しさをあらためて思いました。その他、地域の環境破壊、緊急時の避難所の運営、町内会役員のなり手不足等々、問題は山積しています。

14年前の「自治連だより」のテ

ーマであった「自治連で何？」という言葉を、今あらためて思い返しています。あのころと比べ今は片瀬・江の島まちづくり協議会や部会ができ、それぞれが役割を担い、できる範囲で活動しています。

先に述べた問題を少しでも解決に導き、より暮らしやすい片瀬・江の島地区にするためには、まちづくり協議会を構成する地域団体が協働することが必要です。

自治連は、各自治町内会の結束を図りつつ、他の団体と連携を取りながら活動してまいります。



《 令和4年度 総会報告 》

令和4年5月30日(月)に開催され、令和3年度の事業報告及び収支決算報告、令和4年度事業計画及び収支予算などが審議され、すべて承認されました。

令和3年度は、役員会を6回開催し延べ33人、定例会を3回(うち1回は書面開催)開催し延べ42人、編集会議を3回開催し延べ20人が参加しました。片瀬地区26自治町内会の会長で組織する団体として、情報共有、意見交換、相互の交流など、事業の実施を通じて自治町内会及び各地域団体との連携を深めていくことを確認しました。

今後も、住みやすい片瀬地区を目指し、より活発な自治町内会活動につなげていく取組みを進めてまいります。

◆今年度の自治連役員 <ブロック代表者>

- | | | |
|-----|------------|-----------|
| 会長 | 島山 義昭 | 【江の島ブロック】 |
| 副会長 | 中島 尚之 | 【東ブロック】 |
| 副会長 | 馬場 英人 | 【西ブロック】 |
| 会計 | 北村 守良 | 【新屋敷ブロック】 |
| 監事 | 長坂 美喜雄 | 【五町ブロック】 |
| 監事 | スチュワート 佐和子 | 【片瀬山ブロック】 |

片瀬地区 自治会・町内会長一覧

私たちと共により良い片瀬地区を作っていきましょう

1. 片瀬弥生会 田中 誠治	2. 新屋敷親睦会 泉 譲	3. 新屋敷第一町内会 高柳 博美	4. 三部会 神保 博一	5. 新屋敷第二町内会 北村 守良	6. 片瀬山1丁目自治会 青木 公雄	7. 片瀬山2丁目自治会 中川 千枝子	8. 片瀬山3丁目自治会 松浦 智明	9. 片瀬山4丁目自治会 スチュワート 佐和子	10. 片瀬山5丁目自治会 金子 眞一
11. 東り町東会 鈴木 壯一	12. 片瀬目白山町内会 小山田 幸雄	13. 片瀬中央平和会 五島 由勝	14. 片瀬三和会 中島 尚之	15. 西方町内会 渡辺 弘	16. 西の原会 折原 美知子				
17. 御行町内会 長谷川 紀夫	18. 西浜町内会 馬場 英人	19. 下の谷本町町内会 長坂 美喜雄	20. 竜の口町内会 鈴木 義孝	21. スパナ通り町内会 依藤 光雄	22. 片瀬海岸2丁目町内会 備前 邦男	23. 湘南グリーンハイツ自治会 渡辺 武	24. 江の島東町町内会 島山 義昭	25. 江の島西町町内会 岩本 文彦	26. 江の島弁天会 渡辺 英雄

かたせNOW 【元気はつらつ！】 パラスポーツ「ボッチャ」大会を開催！

スバナ通り町内会 藤原 恭子



令和4年1月16日(日)スバナ会館にて、スバナ通り町内会を対象に「ボッチャ大会」を開催しました。

当日はお天気も良く空気も澄んでいて、コロナ禍でなければ遠出をしたくなるような日でした。この2年間、町内会では夏のバーベキュー大会、秋の研修旅行、冬のおもちつき大会(今年は縮小)、新年会と、独自の企画が中止となりました。当初は、お手伝いがなくなり楽になったなあと思っていましたが、さすがに2年のブランクは人恋しくなり、町内会の空洞に危機感すら覚えていくものでした。

コロナ感染者数も減少し始め、今ならできると思いをはせ、パラスポーツ「ボッチャ」の大会を決行しました。

ルールも知らない、見たこともない参加者とともに、片瀬・市民スポーツの会の皆様のご協力のもと、一投ごとに歓声があがり、喜んだり、くやしがりたりと笑えばなしのひとときを過ごせました。スポーツの会の皆さんも、正式に審判・指導をしたのは初めてとのこと。みんなが初めてだからこそ、これまた楽しいものなのです。

1Fと2Fにミニコートをつくり、町内会参加者8人、スポーツの会4人ほかお手伝いを含め総勢18人で、ルールを勉強しながら、参加者が総当たり戦で勝敗をつけ、優勝者にはようかんを進呈し、参加者全員にお赤飯をふるまって、終了しました。

「また、やりたい」とのお声もいただき、すがすがしい気持ちになったのも、コロナ禍だからかとも思われます。

最高齢は91才で親子で参加されていました。子どもからお年寄り、障がいのある方も一緒に楽しめるボッチャ大会を開催できたことは町内会の新たな絆となり、また、スポーツの会と一緒にできたことも地区の絆となり、片瀬の輪として有意義な一日となりました。

家にいることが当たり前になってきている昨今、外に出て、人に会い、フレイルやロコモにならないよう、今後も企画し、活動していきたいです。

これを機に、町内会活動にぜひ参加していただき、顔の見えるお付き合いを通じ、災害に対しても共助になれることを望んでいます。



ボッチャ大会開会



目標となる白球にどれだけ近づいたかな



優勝した瞬間の
歓喜の様子

自治会・町内会紹介 (14)

「心に掲げる小さな看板」
西の原会 会長 折原 美知子

「西の原会」は、220世帯ばかりの小さな町内会で、マンションは無く商店もない全くの住宅地です。最近では新しい住宅も増えました。昨年会長になると、「8年前から空き家になっていく家屋の瓦がずれ落ちたり塀が剥がれて飛んだりして、近隣の方たちは台風の時節などに怖い思いをしている」との声を耳にしました。

隣家の方が、何年も「なんとかしてほしい」と、市役所に電話をかけたが続けていたのですが、全く進展が見られないままでした。ダメかもしれないと思いつつ、自ら市役所に電話をかけてたところ、すぐに住宅政策課の空き家対策の担当者、センターの地域担当の方がカメラを持ち現地に来て下さいました。

住宅政策課の担当者は、空き家対策の観点から、いろいろ調べて下さり所有者に連絡を取っていただき、8年越しの懸案が解決に向かって動き出しました。

周辺の方々が皆「良かった」「安心した」と言ってくれたのを聞いて、私も胸を「ほっと」なで降ろしました。そのほかにも、「家の前を雨水が滝のように流れて怖い」との声にも市役所に電話をして、現地を見てもらい、すぐに横断側溝の泥を取り除いて貰って排水をよくしてもらいました。

私はまだ新人なので大きなことは分からないことばかりですが、心の中に『よろずお困りごと相談所』の看板を掲げて、これからも町内の方々のために出来ることを頑張っていこうと思います。



三大祭 3年ぶり
新屋敷第二町内会 会長 北村 守良

新型コロナウイルス感染症拡大のために、2年連続で中止となっていた片瀬地区の三大祭が、感染症対策を万全にしたうえで、3年ぶりに開催されました。

『八坂神社天王祭』
7月9、10日にかけて江の島八坂神社天王祭が執り行われました。9日の夜は、「宵宮(よみや)」と呼ばれる前夜祭が、翌10日は、神輿を担いで「海上渡御」は中止となりましたが、本祭り(神幸祭)は従来の神輿に代え唐櫃に御霊を入れて、お囃子の先導のもと島内を巡行しました。江の島のお囃子は、江戸時代に始まりました。三味線やチャルメラといった、他ではあまり見られない楽器を使用するなどの特徴を持ち、神奈川県無形文化財に指定されています。

『諏訪神社例大祭』
諏訪神社例大祭はコロナの現状に合わせ、規模を縮小して実施されました。8月23日の幟たてから始まり、26日夜には、山車と屋台で各町内を廻りました。27日は早朝の浜降、屋台とお神輿による神幸祭渡御、そして夕方には、屋台とお神輿は龍口寺から各町内巡行と同じように台車に載せて、また人気のある山車は各町内の巡行のみとし、還御祭の参加は控えました。一方、境内では露天が出店し、境内にお神輿が入れない程の人出となり、多くの人たちの歓声が響き渡りました。

『龍口寺法難会』
龍口寺法難会は、9月11・12日の2日間で行われました。12日の夜には万灯の展示と纏の妙技が披露され、大勢の人々に感動を与えました。



八坂神社
天王祭の様子



【自治連だより編集委員】

北村 守良	(新屋敷)	畠山 義昭	(江の島)
桐生 留美子	(片瀬山)	馬場 英人	(西)
長坂 美喜雄	(五町)	若林 直美	(東)
中島 尚之	(東)	渡辺 武	(五町)
スフワト 佐和子	(片瀬山)		